

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地				
アルファジャパン 美容専門学校		平成18年3月17日	本田宗一郎		〒670-0921 兵庫県姫路市綿町148番地 (電話) 079-282-8282				
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地				
学校法人本田学園		平成18年3月17日	本田順子		〒670-0921 兵庫県姫路市綿町148番地 (電話) 079-282-8282				
目的	サロン関係機関との連携のもと、就職先では即戦力につながる能力を育成し、教育水準の維持向上のため職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的とする。								
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士			
衛生	衛生課程		美容科		平成6年文部科学省告示 第84号	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技		
2	昼間		2150	650	0	870	0	630	
						単位時間			
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数		総教員数	
80		29		4		10		14	
		人の内数		人の内数		人の内数		人の内数	
学期制度	■前期:4月 1日～9月30日 ■後期:10月 1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 前期・後期期末考査の点数				
長期休み	■学年始: 4月 6日 ■夏季: 8月 1日～8月31日 ■冬季: 12月19日～1月 5日			卒業・進級条件	卒業要件は卒業必須時間履修している者で学年末考査で60点以上の者、進級要件は1学年で必要時間が履修できている者で学年末考査で60点以上の者				
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 就職指導・面談			課外活動	■課外活動の種類 技術大会の参加、ボランティア活動 ■サークル活動: 無				
就職等の状況	■主な就職先、業界等 美容師・アイラッシュ ■就職率 ^{※1} : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100 % ■その他 (平成 28 年度卒業者に関する 平成29年5月1日 時点の情報)			主な資格・検定等	美容師、ネイル検定、メイク検定、まつ毛エクステ検定				
中途退学の現状	■中途退学者 3名 平成28年4月1日時点におい 在学者 26名 平成29年3月31日時点にお 在学者 23名 ■中途退学の主な理由 進路変更			■中退率 11.6 % (平成28年4月1日入学者を含む) (平成29年3月31日卒業者を含む)					
■中退防止のための取組 早期適応を目指し、入学時には本校理念に基づいた研修を行っている。また担任、副担任制を設け、学生との面談・保護者との三者面談を行っている。意欲をもたせるため、卒業生講話の場を設け、美容師としてのやりがい伝えていく。									
ホームページ	URL:hppp://www.a-jyapan.ac.jp								

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校の教育理念である「人間性の向上」「技能の向上」「社会に貢献」を達成させるためには、卒業単位の取得に主眼を置くのではなく、就業先で「即戦力となる技術」の習得を最重視している。教育課程の編成において、提携サロンからの最新

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は組織上で法人理事会の管轄下にいちし、学校・事務局その他委員会と同等の立場である。協議された内容・提言は法人に提出し、確認の上で事務局(教務部)に指示する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
横井啓二	エス・ピー・シー関西利用事業協同組合 理事	2	①
本田浩三	株式会社J&K 代表取締役会長	2	①
井植勉	株式会社J&K 教育ディレクター	2	③
本田順子	学校法人本田学園 理事長	2	③
安東達也	学校法人本田学園 主任	2	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回 3月 8月

(開催日時)

平成29年3月 7日 13:30～15:30

平成30年3月13日(予定) 13:30～15:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

委員会で挙げた意見を学内にて協議し実行する

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校の教育理念である「人間性の向上」「技能の向上」「社会に貢献」を達成するために、実習・演習等でサロン技術を取り入れ、授業内容を職業実践型なものにしていく。そのために常に実践的なサロン技術習得に関する授業科目の担当教員は、提携サロンの者から、実務に関する最新の知識等について、実習における教育内容に関する指導方法、評価方法、教材作り等に助言、資料等の提供を受け、実践的な授業の改善・工夫を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

実践的かつ専門的な職業教育の専攻分野の職業に係る勤労観及び継続的な学習意欲等の醸成並びに学科の専攻分野の実務に必要となる教育活動の質の保証・向上を図る。学生の学修成果について連携を取り学生の成果向上に努める。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
美容実習	個々のお客様の要望に応じた美容技術を確実に提供できるようなカット技術、お客様とのコミュニケーション、接客力を身に付けさせることを目的として、提携サロンスタッフの指導の下、実習を行う。	株式会社J&K
美容総合技術	個々のお客様の要望に応じた美容技術を確実に提供できるような総合的な技術(シャンプー・ブロー・ヘアカッティング・パーマメント・ヘアカラーリングなど)を確実に身に付けさせること、またコミュニケーション能力、接客力を身に付けさせることを目的として、提携サロンスタッフの指導の下、実	株式会社J&K

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

美容教員として本校理念である「人間性の向上」に優れた人材を育成する為、教員としての資質を向上させることができる研修とする。また、学んだことを学生の手本となるよう率先して行う。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

最先端のカット技術 対象:教員歴10年まで 講師:J&K

②指導力の修得・向上のための研修等

教員の資質向上 対象:教員歴10年まで 講師:大学教授
教育心理学 対象:教員歴10年まで 講師:心理カウンセラー

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

まつ毛エクステ講習 対象まつ毛エクステ授業担当教員 講師:スリースターズスクール
最先端の美容義術 対象:技術担当教員 講師:J&K

②指導力の修得・向上のための研修等

理容師美容師養成施設教員研修 対象:教員希望者 講師:各分野で長けている方

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校の教育活動や学校運営に関する評価を行い、その結果に基づき改善を図り、社会に必要な人材を育成していく。自己評価の結果に基づいて行う学校関係者評価の公表や説明を行うことにより、関係者に適切に説明責任を果たす。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受け入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価は、学校の水準を向上させる必須のものとの認識を持つに至った。企業委員からの意見により、教員相互の授業力を高める取り組みがされた。また、地域との連携強化の必要性があるとの意見から市主催の取り組みや地域商店連合会の催事にボランティアとして積極的に参加した。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
本田 浩三	株式会社J&K 代表取締役会長	2	企業等委員
本山 隆幸	有限会社もとやま社長	2	企業等委員
清水 律子	兵庫県立姫路西高等学校 元教諭	2	教諭
西山 博資	保護者	2	PTA
馬場 博之	卒業生	2	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:http://www.a-japan.ac.jp

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校は、学校教育法に基づき生徒、保護者、業界関係者など当該専修学校に関する関係者の理解を深め、これらの者と連携。協力するとともに同法その他関係法令で定められた目的を実現するための公的な教育機関として、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校案内(教育理念・校訓・理事長名) アクセスマップ(所在地・連絡)
(2) 各学科等の教育	学科紹介 募集要項(募集定員)
(3) 教職員	学校案内(教職員の組織)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職進学システム 就職サポート HOME(実践授業取り組み)
(5) 様々な教育活動・教育環境	イベントスケジュール
(6) 学生の生活支援	募集要項(特待生詳細)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(学生納付金)
(8) 学校の財務	学校情報(貸借対照表・消費収支計算書)
(9) 学校評価	学校情報(学校自己評価・自己評価における学校関係者評価報告)
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<http://www.a-japan.ac.jp>

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規	法制度・衛生行政・美容師法・関連法規	2通	1	○			○			○		
○			衛生管理	公衆衛生（公衆衛生・予防医学） 衛生管理（衛生管理・美容所の衛生） 感染症（知識・概要） 衛生管理技術（消毒法総論・各論・実習）	2通 1後	3	○			○			○	○	
○			美容保健	人体の構造及び機能 皮膚科学（皮膚構造・皮膚付属器官・生理機能・取扱）	通1・2	4	○			○			○	○	
○			美容物理化学	物理（力・熱・光・電気） 化学（物質構造・溶液とコロイド・酸と塩基と塩・酸化還元反応・有機化合物・水） 香粧品化学（香粧品概要・原料・基礎香粧品・取扱）	2通	3	○			○				○	
○			美容文化論	美容文化史 美容デザイン 服飾 色彩	1通	3	○			○				○	
○			美容技術理論	器具の取り扱い 美容用具 シャンプーイング カット パーマネントウェーブ ヘアセッティング カラーリング エステティック ネイル メイク 着付け	通1・2	4	○			○				○	
○			美容運営管理	経営管理・労務管理・接客	1通	2	○			○				○	
○			美容実習	器具の取り扱い 基礎技術実習（ワインディング・カット・セット） 頭部技術実習 企業を招いての授業	通1・2	29				○	○			○	○
○			資質表現	人間性の向上・技能の向上・社会貢献・素直 勉強好き・プラス発想・挨拶・返事・後始末について	2前 1通	1	○							○	
○			美容総合技術	現場に出て使える技術（シャンプー・応用カット・アップ・ブロー技術・カラーリング） 企業を招いての授業	通1・2	15				○	○			○	○
○			まつ毛エクステ	まつげエクステンションの用具 衛生管理（消毒法の種類・手順） 保健（眼・皮膚・まつげに関する知識） まつげエクステンション技術（事前準備・装着・リムービング）	2前	1				○	○			○	
○			ネイル	JNECネイリスト技能検定（筆記・実技）	1通	2	△			○	○			○	
○			メイクアップ	社団法人JMAメイク検定2・3級（筆記・実技）	1通	2	△			○	○			○	
		○	着付	山野流着装初中伝資格取得に向けて	1通	1				○	○			○	
合計			科目		2150単位時間(71 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	後期
	1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。